

新世代のための月間に寄せて

国際ロータリー2730地区 2014～2015年度 青少年奉仕委員長 山田忠茂

Japan Currentを当地区全体で創立できたことは正に『ロータリーに輝きを』を与えて頂きました。英断された大迫直前ガバナー始め皆様に御礼とお祝いを申し上げます。

さて、2013年規程審議会で「新世代奉仕」から「青少年奉仕」に変更された青少年奉仕委員会は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年（12～30歳）によって、好ましい変化がもたらされることを目標とするものである。つまり青少年リーダー育成を目標としております。

2014年度地区重点目標として、

①危機管理委員会との連携強化による、リスクヘッジ強化を第一に挙げました。

万が一の備えを強化し、安心して青少年奉仕活動ができる環境づくりを目指します。

②会員増強

○従来の会員増強のみ頼らず、

インターアクト⇒ローターアクト・米山奨学生⇒ローターアクト・青少年交換学生⇒ROTEX（交換学生OB・OG・）

インターアクト⇒青少年交換学生・来日青少年交換学生⇒インターアクト

RYLA参加者⇒ローターアクト 等の委員会内の横のつながりを積極的に促す。

○青少年奉仕をロータリアンの目に見える様、必要性のアピール

⇒ロータリアンの理解による会員増強及び新規クラブ設立を促す。

（国分RC主催のローターアクト説明会もお見事です、問い合わせ下さい。）

- ・未提唱クラブへ青少年奉仕活動報告を実施し理解を求める。
- ・ローターアクト、インターアクト各年次大会へのより多くのロータリアン参加を促し理解を求める。
- ・新世代月間、インターアクト週間、ローターアクト週間での各クラブへの卓話の提供（RA・IT・青少年交換学生等）を通じた広報活動を実施します。是非委員会へ問い合わせください。
- ・公共イメージ部門との連携による地域への広報・ロータリー内部での広報を深める。

③ 委員会自体も全国レベルの情報交換を強化し、レベルアップを目指す。

- ・全国インターアクト委員長会議
- ・全国ローターアクト研修会
- ・全国ライラ研究会
- ・全国青少年交換研究会 等への参加

④RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）を、ロータリーファミリー（アクト・インター・青少年交換・米山・財団留学生のOB・OG）を中心とした参加者に対してRIが提唱する本来のリーダー育成プログラムを実施する。

積み重ねが、真のリーダーを育成し、将来のロータリアンに繋がればと願います。

青少年交換委員会活動運営方針委員長 吉田 末春

⑤青少年交換留学生制度の定着化

青少年交換は『世界中のロータリアンによる相互里親制度』とも言われています。

15歳～18歳の青少年は、1年間で予想以上の成長を遂げ帰国します。

お子様を持つロータリアンに是非、視野の広い世界人育成の為に、お子様を留学生として送出して頂きたい。ご要望があれば各クラブに交換学生やROTEXの卓話を提供致します。異文化交流経験豊かな次世代のリーダー育成の定着化を目指しています。まずは彼らの話を聞く機会を与えて下さい。

等々記載しましたが・・・若者が育たない地域の未来は輝くでしょうか？

地区全てのロータリアンが力を合わせて・・・素晴らしい子供たちを育てましょう。

いつの日か・・・多くの青年たちがロータリアンを目指して頂ける地区になればと、

当委員会すべてのメンバーは日々願っています・・・。

正にEクラブはその一例にあたるやもしれません。

地区内では『突然Eクラブが出来たのか？』とお考えの方もいらっしゃるようですが

6年間の準備期間があったとの事です。

きっかけは、2006年当時の菊池ガバナーがローターアクト地区役員会に出席、アクターへ彼らも将来ロータリンを目標とする必要性を話されました。

その話題は着実に、アクターの『地区役員OBOG勉強会』として継承されました。

そして、2010年3月当時の伊藤ガバナーエレクト参加の下、『2720・2730地区合同ロータリークラブ設立勉強会』として、

両地区青少年奉仕委員・ローターアクト地区役員OB・OGが参加にて開催されました。

勉強会は試行錯誤しながらもトータル6年間継続されていきました。

その結果、2014年11月大迫ガバナーの英断により設立準備委員会設置に至りました。

そして現在、チャーターメンバーも菊池パストガバナー始めベテランと元アクターの絶妙な組み合わせで創立されています。創立経緯に青少年奉仕活動の原点を改めて考えられることになりました。

また、Eクラブ運営のあり方は還暦を迎える私の年代には目を見張るものを感じます。このホームページを拝読しても・・・果たして我がクラブの1年目会員がこの様な運営ができるだろうか？私自身あらためて教えられる事も驚きを感じています。

慣れないPCで原稿を作成しながら・・・

Japan Currentの試みに大きな可能性と喜びを感じて楽しみしております。

Japan Currentの皆様には心からの祝福を申し上げます。